

ずいそう

同期の大切さ

一ノ瀬 亜美 (写真右)・中 礼 愛 香 (写真左)



私たちが社会人になり早や2年半が経とうとしています。これまでに多くの出会いがあり、尊敬する上司、信頼できる先輩、励ましあえる同期に恵まれました。

入社し、すぐ新入社員研修がありました。急に押しかかる社会人としての責任や不安に押し潰されそうでしたが、同じ境遇の同期と約1カ月間一緒に生活をし、社会人としての心得を学んでいくうちに、仲も深まり、かけがえのない同期の存在が大きなものへとなくなりました。そして、これまで抱いていた不安がひとつずつ解消されました。

研修も無事終わり、同期との再会を約束してそれぞれの配属先へ旅立ちました。私たちは九州支店の事務課配属となりました。

配属されて先輩の仕事を見たり、お客様と接しているうちに改めて学生と社会人の違いを実感しました。当時は、学生気分が抜けきれていないとの指摘を受け、悩んだこともありましたが、そのような壁にぶちあたった時、同じ立場で物事を考えてくれ支えあえる同期がいつも側にいたので頑張ることができました。

辛いことはたくさんありますが、私たちのストレス解消法はとにかく遊ぶことで、職場で毎日一緒にいるのに仕事の後や休日まで遊びに出掛けます。ドライブ、いちご狩り、紅葉狩り、陶芸、サイクリングなど、これまで2人で色々な所に行きました。中でも一番印象に残っているのが、伊王島1泊2日の旅です。長崎市内からフェリーに乗り伊王島へ向かったのですが、天候不良の為フェリーが驚くほど揺れ、本当に死ぬような思いをしました。とりあえず無事に伊王島に到着したものの、外は極寒で人っ子ひとりいない静けさでした。しかし、その寒さの中あられにうたれながら私たちは太陽の海岸や伊王島灯台へ観光に出掛けました。灯台では、雲の間から光が射し込み、それが海に反射していてとても幻想的な景色を見ることができました。それに感動した私たちは記念にセルフタイマーで写真を撮ろうとしたのですが、強風によりカメラが落下し壊れてしまうというハプニングにみまわれました。そんなハプニングと寒さにも負けず、夕暮れになると教会がライトアップするというので教会へ向かったのですが、またしても困ったことが起きてしま

いました。時間をすぎても一向にライトアップしないのです。私たちは凍える中励ましあって待ち続けました。諦めて帰ろうとしたその時、やっとライトアップした教会を見ることができ、待った分感動も大きなものでした。ホテルへ戻ってからは、夕食のお鍋や温泉で芯から温まることができ、とても幸せな時間を過ごしました。ハプニングは多かったです。笑いの絶えないとても楽しい思い出となり、お互いの絆がより一層深まった旅でした。

2人だけで遊ぶのではなく同期会も度々開催しています。去年の夏には鹿児島旅行を企画し九州だけではなく中国・四国からも同期が集まりました。久々の再会で、少し緊張しましたが、すぐに研修の時に戻ったように打ち解けて、思い出話に花を咲かせながら色々な場所をドライブしました。1日目は、鹿児島名物の白熊や唐船峡の流しそうめんをみんなで輪になって食べました。お腹もいっぱいになった後は砂蒸し温泉でリラックスした時間を過ごしました。その日はロッジに泊まり、花火をして夏を満喫しました。その後、クーラーの故障に気づき、暑くてなかなか眠れませんでした。そんな思いがけない出来事もみんなで笑い飛ばし、いつのまにか眠りについていました。2日目は朝6時に起きてあじろ浜に海水浴に行きました。浜に着くと一番乗りで、まるで、プライベートビーチのようでした。海は透き通っていて、潜ると熱帯魚を見る事ができました。私たちは大自然に感動し仕事のことなど忘れて思いきり楽しみました。しかし、楽しい時間はあっという間に過ぎ、別れの時がきました。とても寂しい気持ちになりましたが、また次会う時まで頑張ろうとみんなで約束し、それぞれの家路につきました。

これまで同期と過ごした時間は私たちにとってかけがえのない時間です。辛い時はみんなで励ましあって乗り越え、嬉しい事は一緒に喜べる同期がいたからこそ私たちは頑張っただけなんだと思います。今まで同期に助けてもらった分私たちも同期にもっと頼ってもらえるように頑張っていきたいです。そして、これからも同期と共に切磋琢磨して成長していきたいと思えます。

—いちのせ つぐみ・ちゅうれい あいか (株)アクティオ 事務課—